

第1分科会

学校経営スタッフとしての事務職員を目指して ～継承（つぎにつなぐ）と共育（ともにそだつ）～



提案者	福山市立手城小学校	宮田 貴子
提案者	福山市立大門中学校	佐藤 文
司会者	福山市立幸千中学校	本安 治美
司会者	福山市立戸手小学校	小林 佳子
記録者	福山市立緑丘小学校	高橋三保子
記録者	福山市立本郷小学校	長尾 美幸
助言者	広島県教育委員会 教職員課福山分室	川相 浩人
分科会責任者	福山市立東中学校	坂本 絵巳

(参加人数 97名)

提案の概要

福山市では、急激に進む世代交代の中、事務実践の継承と人材育成のため、平成29年度より、事務長会が作成した『福山市小中学校事務職員研修実施計画』を基に、「学校事務職員として資質能力の向上と専門性を発揮して学校経営に参画する人材の育成」をめざして研究・研修を行っています。

また、平成23年度より、事務の標準化や新規採用者等支援のツールづくりを共同事務室の各担当別（事務長補佐・人事給与・経理・児童生徒）で進めてきました。人事給与担当の取組を中心に、年度替わりマニュアル、事務だより、サービスマニュアル、事務の手引の加除修正、経験別研修の5つの取り組みの中から、年度替わりマニュアルとサービスマニュアルの活用状況や使用してみたの感想等について、アンケートを実施し、取組の成果と課題を、集約したデータを説明しながら提案を行いました。

討議の内容

①新規採用者等の支援や人材育成の取組について、②「事務をつかさどる」ってなんだろう？の二つの討議の柱を設け、24テーブルを6班に分けてワールドカフェ方式によるグループ討議を行いました。

ワールドカフェとは、会議室で行われる機能的な会議よりもカフェで行うようなオープンで自由な会話を通してこそ、生き生きとした意見の交換や新たな発想の誕生が期待できるという考え方に基づいた話し合いの手法です。4つの意識（みんなで参加します、自分の発言はみんな聞いてくれます、参加している人はみんないい人です、いろんな意見があることはありがたいです）と7つの行動（よ

く聴く、よくうなずく、よく笑う、よく拍手する、よくパクリ、よく絵をかく、よく会話を楽しむ)の約束のもと、テーブルの上の模造紙に自由に書き込みをしながら話し合います。②については約20分の話し合いを、1回目は今テーブルに座っているメンバーで、2回目は1人を残して班内の他のテーブルへ移動して、3回目は元のテーブルに戻ってと3回行いました。自分が最初に話したテーブルでのアイデアがミツバチが花粉を運ぶようにどんどん他のテーブルへと拡がり、交わり、新たな発想が生み出されることをイメージして行いました。

各テーブルの模造紙より (抜粋)

①・共同事務室内で支援の担当者を決める。

・新規採用2年目が新規採用者をフォローすることで互いに高まることができる。

②・つかさどる=広がった、責任あるイメージ。専門性。企画する。発信する。

・知識を貯蓄し、事務職員にしかできないことを他の職員とは異なる視点で分かりやすく伝える。

各テーブル4人という少人数で話しやすかったため、活発な意見交流ができました。自由に意見を出し合い、その意見を他の意見とつないだり、ともに考え、発想を膨らませたりしながら深めていきました。時間の都合で発表し合うことはできませんでしたが、各テーブルの模造紙を写真に撮っている様子も見られました。

まとめ

助言者より

福山市の手引き等は今までの取り組みが継続されてデータや情報の蓄積があって使い易くなっており、若手や市外からの異動者等にとって心強いものとなっていると思います。ただ、維持していくのは大変で特定の個人で続けていくのは難しいので、福山市のように組織的に更新・作成が行われているのはよい点で、継続可能なシステムの維持をし続けていただきたいと思います。

学校経営に参画するための一つには、広い知識と多角的に見る視点が必要です。そのための個人の準備としては色々な事例を好奇心を持って調べてまとめたり、意図を考えながら根拠を読むのはとても勉強になり、それを共同事務室や研修会で広めるとより多くの人の知識にすることができます。

組織的な取り組みとして市全体で段階的な育成計画が必要という内容がありましたが、全県的な状況として毎年新規採用者が配置されて経験年数の少ない人が増えてきています。事務職員が個人で考えて工夫しながら指導するのは有効ですが、このような状況が増える中で個人に頼った指導という点では難しくなる時がくると考えます。例えば新規採用1年目の標準的な目標を設けたり、資料を準備しそれを使って各共同事務室単位で同じような内容で研修をするとか、人材育成の標準的な形をつくとよいのではないかと思います。新規採用2、3年目への段階的な継続したものを作るのが理想ではありますが、なかなか難しいところはあると思います。ただ、福山市の取り組みを見ると少しずつ蓄積を計画的に結び付けていけばそういうことができるのではないかと考えます。

今日の提案を参考にして、今後各学校や共同事務室で提案をする時や、人材育成に関わり研修を行う際等に何が目的で、何を伝えるか、どう伝えるか、目的、内容、方法を意識して行っていただけたらよいと思います。今日のテーマは縦の繋がりですが、県内の横のつながりを大切にして連携して高まりあっていただけたらと思っています。